

食事のおいしさ・楽しさをそのままに

慢性腎臓病(CKD)の食事療法

おいしい365日(キッセイヘルスケア通販カタログ)より抜粋

CKDでは、ある程度まで腎臓の機能が低下してしまうと、元の状態に戻ることはありません。しかし、正しい治療を行うことで進行を抑えることができます。

CKDの場合は「薬物療法」のみでは効果が現れにくく、「食事療法」も行うことでより大きな効果を発揮します。

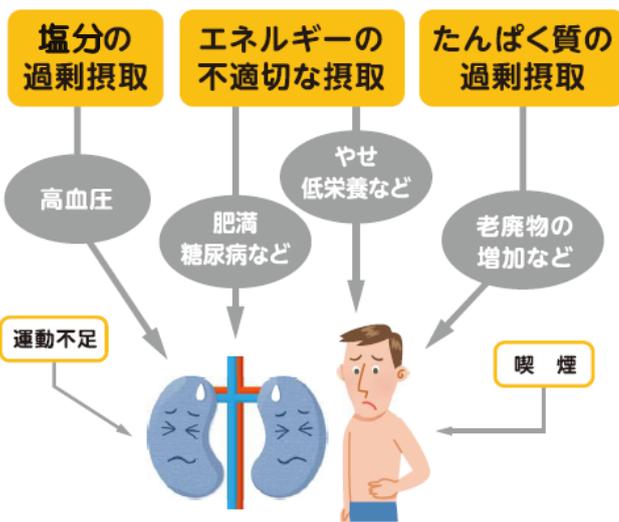
食事療法では、適切な「エネルギー」を確保した上で「たんぱく質」と「塩分」を適正にコントロールします。しかし、通常の食事から「たんぱく質」をコントロールしようとする、食事の全体量を減らすことになり、「エネルギー」を確保することが難しくなり、治療の効果がでないばかりか逆効果になることもあります。そうならないためには、主食のごはんを低たんぱくごはんの「ゆめごはん」などにかえることが必要です。「ゆめごはん」はたんぱく質を普通のごはんより減らしてありますが「エネルギー」は同程度です。主食を「ゆめごはん」にかえるとおかずを極端に減らさずに「たんぱく質」がコントロールでき、かつ、しっかりと「エネルギー」を確保できるようになります。

腎臓の機能をできる限り維持し、血液透析などの腎代替療法導入を遅らせるため、「ゆめごはん」などを使用した正しい食事療法を始めましょう。

監修 一般社団法人 腎臓・代謝病治療機構 代表
東京家政学院大学 客員教授 中尾俊之先生

慢性腎臓病とは

腎臓は、老廃物の排出、血圧の調整や血液を作るホルモンを出すなどさまざまな働きをしています。これらの働きが低下した状態を「慢性腎臓病(CKD)」と言い、その原因のひとつとして、食生活に起因する生活習慣病が大きく影響していると言われています。



腎機能の状態

CKD ステージ (病期)	G1	G2	G3a	G3b	G4	G5
腎臓の機能状態	90%以上	60 89%	45 59%	30 44%	15 29%	15%未済
eGFR	≥90	60~89	45~59	30~44	15~29	<15
症状	ほぼ正常	腎機能低下	中等度低下	高度低下	末期腎不全	
	自覚症状がほとんどない		むくみ、息切れ、疲れなど			

ご自身の検査結果をあてはめてみましょう

腎臓病の食事で注意すること!

- 医師・管理栄養士の指導・相談を受けましょう
- 塩分を控えましょう
- 適正なエネルギーをとりましょう
- たんぱく質を適正量に控えましょう

キッセイ薬品からのご案内です

その① 「腎臓サポート協会からの案内を見た。」とお伝えください。

電話相談窓口のご案内です！

お客様一人ひとりの不安やお悩みに寄り添いながら、食事療法について一緒に考え、365日おいしい食事について豊富な情報を持った管理栄養士などの専任担当者がお電話にてお手伝いいたします。

お気軽にお電話ください。



食事療法に関すること



検査値に関すること



商品やレシピに関すること



※食事療法は医師の指導の下で行ってください。

ご利用 **無料** お気軽に！

『キッセイ食事サポートサービス』電話相談

管理栄養士など豊富な情報を持った専任担当者がお客様の食事療法をお手伝いします。



0120-515-260

受付時間 9:00～17:00
(土・日・祝日を除く)



※医療従事者が行う個々の病態・栄養状態の評価や治療方法についてのお答えはいたしかねます。

その② 無料で試食サンプルセットをご提供致します！

※FAX・メールにて、ご氏名・ご住所・お電話番号・試食用サンプル希望「腎臓サポート協会からの案内」とご記入の上、2022年10月30日までにお申込みください。

FAX ➤ **0263-54-5022** 受付24時間

メール ➤ **oishii365@pharm.kissei.co.jp**

たんぱく質・塩分調整食品がどんな味なのか、是非お試しください。



サンプルセット (一例)

ゆめごはん1/35 たんぱく
150g こだわりカレー



盛付例:たんぱくこだわりカレー

詳しくは無料相談窓口またはHPまで

その③ 2022年 10/3～12/29まで

ゆめごはん新規ご購入キャンペーン実施中！

●初めてゆめごはん「トレータイプ」をご購入されるお客様限定
お会計総額から**800円割引**いたします。

個人情報には法令に従い、適切に管理し、以下の利用目的の範囲内において使用させていただきます。

・弊社試供品のご提供

詳細は <https://www.kissei.co.jp/policy/> をご覧ください。